

企画展

■漢字ミュージアム2階 企画展示コーナー ■入館料のみ必要

2017年9月26日(火) ↓ 11月19日(日)

东亚细亚汉字

東<sup>アジアに</sup>おける

# 漢字の歩み展



東アジア  
文化都市  
2017 京都

CULTURE CITY OF EAST ASIA 2017 KYOTO

連携事業

東亞細亞漢字

## 「東アジア文化都市」とは

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3箇国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、

東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。



漢検 漢字博物館・図書館  
Japan Kanji Museum & Library

休館日 / 月曜日(休館日が祝日の場合は、翌平日に振替)  
年末年始、臨時休館あり  
開館時間 / 9:30~17:00 ※入館は16:30まで  
入館料 / 大人¥800 大学生・高校生¥500 中学生・小学生¥300  
未就学児・障がい者 無料  
小中高生1名以上と同伴の大人は、1名につき300円引(大人2名まで)  
※各種割引制度あり

# 東アシアにおける漢字の歩み展

漢字文化圏における各国の漢字施策やトピックについて、パネル解説と遊び体験を通じて学べる企画展です。

かつて中国を中心としたその周辺の国々においては、口で話すことばは異なっているも、古代中国の規範的な文体(日本で「漢文」と呼ばれている文体)で、漢字を使って文章を書けば、お互いの意思疎通が可能であるという状態が存在していました。

このような文化共同体を「漢字文化圏」といいます。企画展では、各国の漢字施策の年表や字体・字形の違い、意味の違い等を解説するとともに、体験展示として、「字体・字形合わせかるた」、「熟語スタンプ」、「漢字、なるほどリンクバー」等が楽しめます。

関連シンポジウム

## 「アジアの漢字NOW」

戦後のアジア諸国における文字政策を振りかえる

日時/2017年11月12日(日) 14:00~16:30  
 場所/漢字ミュージアム1階 多目的室  
 定員/先着130名  
 聴講料/無料(入館料のみ必要)

〈基調講演〉

### 「韓国における漢字のあり方と人々の認識について」

小倉 紀蔵  
 京都大学大学院人間・環境学研究所教授

〈パネルディスカッション〉

司会 **阿辻 哲次**  
 漢検 漢字博物館・図書館 漢字文化研究所所長

パネリスト

**小倉 紀蔵**  
 京都大学大学院 人間・環境学研究所教授

**清水 政明**  
 大阪大学大学院 言語文化研究科教授

**前田 安正**  
 朝日新聞メディア プロダクション校閲事業部長、元報道用字用語委員会メンバー

access

■ 所在地  
 〒605-0074 京都府京都市東山区祇園町南側551番地(京都市元弥栄中学校跡地)

■ 電車  
 ・京阪電車 京阪本線「祇園四条駅」6番出口から八坂神社方面へ徒歩5分  
 ・阪急電車 阪急京都線「河原町駅」木屋町南出口から八坂神社方面へ徒歩8分  
 ・地下鉄東西線 「東山駅」2番出口から東大路通を南へ徒歩10分

■ バス  
 ・京都市バス 12・31・46・80・100・201・202・203・206・207系統「祇園」下車すぐ  
 ※お客さまへのお願い/駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

information

■ 休館日 月曜日(休館日が祝日の場合は、翌平日に振替) 年末年始、臨時休館あり

■ 開館時間 9:30~17:00 ※入館は16:30まで

■ 入館料

大人	大学生・高校生	中学生・小学生	未就学児	障がい者
¥800	¥500	¥300	無料	無料

■ 割引制度  
 ・小中高生の修学旅行・課外学習グループ割(2名以上)1名につき100円引  
 ・小中高生1名以上と同伴の大人は、1名につき300円引(大人2名まで)  
 ・団体は、20名以上1名につき100円引(団体引率者は10名につき1名免除)  
 ・障がい者の介護人(1名)免除 ※他割引・他サービスとの併用不可

■ 年間パスポート  
 ・大人 ¥2,500 ・大学生・高校生 ¥1,600 ・中学生・小学生 ¥1,000 (年パス)  
 ※講座やワークショップ等への複数回参加、図書館での学習にご利用ください。

